



第10回CPVS @ちゅらSim

Clinical Physiology of Vital Signs

バイタルサインの生理学的解釈法を用いた

急性期症例マネジメントトレーニング！

目標：臨床現場でバイタルサインからの臨床診断を実践するようになる

- 1：バイタルサインの生理学的解釈を実践
- 2：多数傷病者対応で実臨床に近い緊張感での臨床推論を展開する

内容：多数傷病者対応シミュレーショントレーニング

- 1日を通じて35症例に直接あるいは間接的に暴露
- Decision Making(臨床推論)トレーニング

準備

：バイタルサインからの臨床診断

募集人数

：最大12名（最小開催人数 4名）

資格など

：コース参加証

：コース内評価で高評価者は次回以降のファシリテーター参加権獲得！



日時：2014年1月12日 朝9時開始 夜8時解散

会場：おきなわクリニカルシミュレーションセンター

受講料：HP参照

対象：初期研修医～若手医師

注意：テキスト熟読後の受講を推奨しています。

講師陣紹介（他にもインストラクター・ファシリテーター・タスクフォース多数参加予定）



入江聡五郎：開発者・ディレクター・CPVS上級インストラクター

浦添総合病院 総合診療部 研修教育専任医長 救急専門医

バイタルサインからの臨床診断 著者。Japan focused Medical Teaching Fellowship修了、iSIM修了。

iSIM-J/FunSim-Jタスクフォース。HAWAII-OKINAWA Medical Teaching Fellowship実行委員。



北原佑介：CPVS上級インストラクター

浦添総合病院 総合診療部 研修指導医 救急専門医

HAWAII-OKINAWA Medical Teaching Fellowship修了。



中山由紀子：CPVS上級インストラクター

沖縄県立中部病院 救命救急センタースタッフ 救急専門医

HAWAII-OKINAWA Medical Teaching Fellowship修了。



CPVS Outline動画↑